

市民エキストラ通信

発行：和歌山市まちづくり推進室 観光課 発行日：平成 18年 3月20日
〒640-8511 和歌山市七番丁23番地
TEL：073-435-1234 FAX：073-435-1263
E-mail kanko@city.wakayama.lg.jp
http://www.hall.city.wakayama.wakayama.jp/fc/index.htm

VOL.3



ロケにいい場所知りませんか？

いわゆる観光名所と言われるような場所でもなく、当たり前な風景なんだけど、なんだかすごくお気に入りの場所。そんな場所を知りませんか？ロケには、意外とそんな場所がいっぱいあります。

あなたのおすすめスポットを写真にしてお送りください。

和歌山市のフィルムコミッション事業のHPへ投稿！
<http://www.hall.city.wakayama.wakayama.jp/fc/index.htm>
⇒「写真 作品の募集」というところをクリック！
和歌山市観光課へ直接郵送！
⇒〒640-8511 和歌山市七番丁23 和歌山市役所内
まちづくり推進室 観光課 「FC担当」まで

※なお、応募頂いた写真は返却しません。また、和歌山市は、応募頂いた作品について、市の広告・宣伝等を目的とした媒体に掲載するなど、自由に使用させていただけるものとします。

- 左下から時計回りに：
- 加太のまちなみ (匿名希望さん撮影)
 - 蓬萊岩の朝日 (出合義昭さん撮影)
 - 玉津島神社 (寺下正さん撮影)
 - 高津子山展望台 (わかげんさん撮影)
 - 三年坂より和歌山城 (松本弘幸さん撮影)
 - 片男波から (匿名希望さん撮影)
 - 淡嶋神社参道 (匿名希望さん撮影)



和歌浦で行われた関西テレビドラマ「約束」(放送日未定)ロケに参加した市民エキストラ

市民エキストラ60人が出演！

昨年夏、和歌浦でドラマのロケが行われ、エキストラ総勢約二百人、そのうち市民エキストラ六十人が参加しました。バス2台で撮影現場に着いたエキストラのみならず、暑いなかでの出演待ちに少し疲れ気味の様子でしたが、出番が来て役者さんや演技指導を受けているうちに、少しずつドラマの役に入っていきます。帰りには、疲れもふつとんだように笑顔で現場をあとにする方が多かったです。このドラマは、当初昨年秋に関西テレビで放送される予定でしたが、現在のところ具体的な放送予定日はまだ決まっていません。一日も早くみなさんの活躍が見られるといいですね。

シネマ 映画な人



石井 秀樹 (いしい ひでき)

1969年生まれ。2000年に社団法人和歌山青年会議所に入会し、「元気なひとづくり委員会 委員長」「総務室 室長」を経て現在「50周年準備特別委員会 委員長」。今回の映画を成功させるため、委員長として目下奔走中!

和歌山の魅力たっぷりの映画を！

私は和歌山市内の高校を卒業してから神戸市内にある大学に入学しました。自宅から通学できない距離でもないのですが、やはり神戸というブランドに惹かれ、4年間一人暮らしをしました。たくさんの友人もでき、華やかな街での生活は非常に楽しいものでした。しかし、何か落ち着かない日々が続き、“これは何なんやろ？”と考えたことがありました。私が感じた答えは“和歌山みたいな海と夕日が無い”でした。もちろん海はあったのですが砂浜があるところまでは遠いうえに大渋滞！和歌山に帰る方が早かったのかも・・・和歌山にはすぐ近くにそんなすばらしい環境があるのです。今も県外からの友人が来和すると必ず夕方に加太や雑賀崎に連れて行き、私の和歌山自慢を見せ付けてやります。離れてみないと和歌山のすばらしいところってわからないんですよ！我々和歌山青年会議所は「我が郷をもっと好きになれる、みんなが和歌山に興味をもつ」その様な和歌山のすばらしさを再認識できる和歌山の魅力がたっぷりの映画を制作したいと考えています。ただいま、映画の原作となる小説を募集中です。皆様からの応募を心よりお待ちしております。



今年(平成17年度)あった
こんなロケ&こんな問い合わせ

- ロケ**
- ・関西テレビ/ドラマ「約束」(放送日未定)
(撮影地:和歌浦ほか)
 - ・フジテレビ/「ふるさとランキング2」(H17.11.1放送)
(撮影地:JR和歌山駅前広場)
 - ・日本テレビ/「一億人の大質問!? 笑ってコラえて!」
(H18.5月下旬放送予定)(撮影地:ぶらくり丁協同組合ほか)など。
 - ・スカイパーフェクTV・釣りビジョン/「フィッシングカフェ」
(H17.12.17初回放送)(撮影地:雑賀崎地区周辺)

- 問い合わせ**
- ・撮影用に自家用車数百台を集めたいので、自家用車を2日間ほど貸してくれる人はいませんか?
 - ・家並みと海が背景に見える石段を軽やかに駆け上がるシーンを撮りたいのだが、そんな場所はありますか?

観光課では、このような問合せなどに対し、和歌山市ロケを実現させるため、いろんな場所を探してサンプル画像を送ったり、資料を集めて送っています。

あなたの小説を映画に!

社団法人 和歌山青年会議所では、「恵まれた自然、快適な環境で元気になる~元気になろうよ和歌山で~」をテーマにした映画を作成するにあたり、その原作となる小説を募集しています。

小説の条件

- ①日本語で書かれた未発表のオリジナル作品。
- ②恵まれた自然や快適な環境を織り込む。
- ③人々を元気づけることができる作品。
- ④ジャンルは問いません。

賞の種類及び表彰

最優秀賞 1点
表彰状・賞金50万円

和歌山青年会議所50周年記念事業映画として映画化

優秀賞 1点 表彰状・賞金10万円
佳作 1点 表彰状・賞金5万円

応募資格

※応募方法など詳しいことは下記URLをご覧ください。

URL: <http://www.wakayama-jc.net/>

問い合わせ先

(ご応募に関するご質問等は、FAXかメールにて受付)
FAX: 073-431-1693 / メール: office@wakayama-jc.net
〒640-8227 和歌山市西汀丁36 和歌山商工会議所5階
社団法人 和歌山青年会議所



日本テレビ系 所ジョージさん司会の人気番組「1億人の大質問!笑ってコラえて!」に挿入されるVTRのワンシーン。「日本列島 ちよつと昔の旅」というコーナーで放送される再現映像です。いずれも和歌山市内で撮影されました。



設定は、主人公グループのバンドが老人ホームで慰問コンサートをやるシーン。



今回撮影が行われたドラマは、和歌山市在住の作家前田朋子さんの原作で、市民エキストラのみならず、夜のシーンが加太でも撮影されました。和歌浦ロケに参加したのは、市民エキストラのほか劇団所属の役者さんなども含め、約200人。当日参加された市民エキストラの方に感想を伺いました。

ロケに参加してみてもいいかな?!



最初は興味本位で、「どんなことするんだろうな。」ぐらいの軽い気持ちで参加しました。作品作り、ドラマ作りの大変さ、楽しさを全く知らずに...

いつもテレビの中で見ている有名な俳優さんたちが、何人も生で、目の前で演技している!「スタート!」「カット!」の声。カメラが回っている!別に自分が俳優になっただけでもないのに、ちょっぴり緊張したり、とびきりの笑顔をしてみたり。とにかく、平凡な日常生活から飛び出して、とてもドキドキワクワクの素敵な時間を過ごすことができました。また、自分たちの普段暮らししている街を少しだけ、特別なモノに感じることができました。すごく楽しかったです。今後、わが街和歌山で撮影があつて、市民エキストラの力が必要になったときには、是非参加したいと思います。

(澤田美穂)

昨年六月和歌浦でのドラマ撮影に初めてエキストラとして参加させて頂きました。ドラマ撮影の裏方さんのご苦労と俳優の皆様の迫真の演技を目の当たりにし、感動の六時間でした。

和歌山には、まだまだロケ地として誇れる場所がいっぱいあります。これからは映像制作にどしどし使ってもらって、観光地和歌山の発展を願うと共に、私たちエキストラも積極的に参加し、視野を広げたいと思います。

(澤田美智子)



私は、市民エキストラとして登録させて頂いてから、ロケに二回参加致しました。

今回の和歌浦でのロケは厳しい暑さの中でした。有名な俳優さん、落語家の方々と隣り合わせで本当に楽しい一日でした。それに若い人たちに混じって孫ぐらいのかわいいうちの子たちと一緒に暑さもお忘れり上がって一生懸命でした。和歌山の作家、前田朋子さんも暑いで一日中おつきあいされていらしたようです。放送されれば、自分が映る、映らないは別として、その場所に自分が居たんだという事に対して満足感が得られると思います。和歌山市のフィルムコミッション事業を一人でも多くの人に知ってもらうために、放映されれば、和歌山市・和歌山県の観光のPRにもつながると期待しています。又、機会があれば参加させてください。と思っています。

(坂部美恵子)

筑紫哲也さん講演会「旅と映画」

(わかやまFC設立記念講演)

去る平成18年2月26日、和歌山県観光連盟が「わかやまフィルムコミッション」を設立し、その設立会と記念講演会が市内のホテルで行われました。和歌山市も県内で先進的にフィルムコミッション事業を行っている自治体として、組織の推進委員になっています。今後は、和歌山県観光連盟が県全体のロケ誘致に積極的な取り組みを予定しており、市民エキストラの登録制度がある和歌山市も出番が多くなるかもしれません。記念講演会で筑紫さんは、「世界遺産というだけでなく、和歌山

(紀伊半島)は、日本中どこにもない神聖で特別な魅力を持つ場所だ。この場所で素晴らしい映画作品が生まれる可能性は十分ある。」と話していました。記念講演会には、現在田辺市で撮影中の「幸福のスイッチ」に出演している中村静香さんも駆けつけ、「地元の方が、みなさんとても温かい。」と撮影現場の印象を話し、演技に必要な覚えたての和歌山弁(田辺弁?)を披露していました。



(俳ゆうさんが)おどっているのを見てうれしかった。(おみやげの)メモちようをももらえてうれしかった。(女優さんに)あめもらえてよかった。(俳ゆうさんのお)おにいちやんがみうのまねしてはうれしかった。(東みう)



私が、初めてエキストラをした感想は、思い出になった事です。現場につく前は、ウキウキとかワクワクします。でも、その時は夏だったのもものすごく暑かったです。まじ時間も長かったけど本番になると楽しくて、しらない間に終わってしまいました。いい思い出になりました。(東あい)



私が想像していたのとまたちがいました。部屋でするのかと思ったり外でやっていたのでとても暑かったです。立つのがしんどかったです。すごいハクリヨクがあつて、とてもおもしろかったです。でも、と中から暑くてたまらなくなつたので、と中から逃げました。そこはとつても暑くありませんでした。ちよつとたつてからまた見に行きました。また見に行きたかったです。俳ゆうさんはすごいんだなーと私は思いました。とてもすごかったです。またいきたいです。(東ゆい)